

20 周年特集 5 月実施 20 周年記念イベント報告

<その 1> 20 周年記念「ウォーキング」 5 月 25 日(日)実施

～小平霊園(さいかち窪)、村野邸の見学、東久留米の湧水・清流の散策～ 参加 14 名



20 周年記念ウォーキング 出発地点小平霊園にて

狂ったような猛暑にも拘わらず天候に恵まれて、小平霊園からスタートした。霊園の外側から見たことはあっても、内部を散策した方は少ないようで、街中の喧騒を暫し忘れて園内を散策。稲門の大先輩である野口雨情の墓所前では、大島さんのハーモニカに合わせて、雨情を偲んで七つの子他の童謡に久々の子供の憧憬に浸った。又、民家研究の泰斗である今和次郎先生の墓所では、建築学科の教え子である佐藤さんのご説明を戴き、我が稲門の先駆者の偉業を知るに至る。かつて黒目川の源流であった「さいかち窪」を訪れたが、近年枯れておりその跡を留める程度となっていたのは残念であった。

国の有形文化財である 1839 年建造の村野邸は、現在「顧想園」として保存されており、1 時間に亘り有志の方々による説明と案内を戴いた。江戸時代から変わらぬと言われる、檜の屋敷林に囲まれた茅葺家屋の侘住まいが立派に現存する様子には、一同心打たれた次第である。見学後、村野邸の一角にて、村野家茶畑産のお茶と柳窪麦を使用した饅頭のお相伴に預かりながら、昼食を使った。

午後は、黒目川に沿って作られた散策路を下る。上流部は湧き水が乏しく水のない川に期待を削がれた面があったのも否めないが、下里の都大橋より下流は水量が確保され、黒目川の面目躍如を感じながら、季節には早い暑い日差しの中を大円寺まで辿った。最後は、例によって懇親会で話が弾んだ。

東海俊孝記



村野邸 「願想園」にて

大先輩 野口雨情の墓前

大島さんのハーモニカ伴奏で童謡を歌う

<その2> 稲門会 20周年記念「映画鑑賞会」を終えて 5月29日(木)実施

当会 20周年記念行事の一つとして映画鑑賞会が特別企画され、かねて上映希望のあった作品『風と共に去りぬ』の上映会を開催しました。開催に当たっては、作品が3時間30分と長丁場で、ホールや映写技師の都合等、いろいろ問題がありましたが、共催者の公益法人豊島修練会（成美教育文化会館）の賛同と協力を得て開催することができました。

開始時間の30分繰り上げにも拘らず、定刻には満席となり、来場者の熱心さは私達の予想以上のものでした。この作品は映画史上名作中の名作、70年余を経た今も色褪せることなく人気があると知らされた思いでした。ご承知の通り、この作品は南北戦争を背景に繰り広げられる人間ドラマで、前編と後編から成ります。前後の間20分の休憩時間に、当会記念事業実行委員長の幹事の方が、来場者のために冷緑茶を用意してくれました。思いがけない「おもてなし」と、多くの方々に大変喜ばれました。途中帰る人もなく予定通り5時30分終映。大成功でした。

この映画会もすでに45回となり、毎回満席かそれに近く、補助席を用意するほどの盛況で、成長してきました。今更“ヤーメタ”と言えない位、市民の楽しみな大切な催し物となっています。当日も帰りの出口で、感動というか、満足感というか、充足感というか、そうした表情に接して、次回を口にする来場者の方々に背中を押されるように、当会の世話人達は懲りずに帰途には、次回の計画に話題が及ぶのです。

その日後片付けをしながら館長横山先生は「あのアメリカと戦争やって勝てる訳ないですね」と感想を一言。改めて映画にはその時代の文化と社会を写す鏡のような面のある芸術と思いました。

東久留米稲門会にしかできない映画鑑賞会です。当会は映画に関する限り、どこにも負けない知識人をたくさん抱えているのです。皆さんの協力で続けていって下さるよう願います。

菱山房子記



満席となった5月29日の成美教育文化会館

<その3> 20周年記念「早慶戦観戦記」

5月31日(土)実施

5月31日、神宮球場にはこれ以上ない“紺碧の空”が広がり、その下には“心の故郷”に集う若者たちの熱気が集まっていた。

私にとって内野学生席は実に58年ぶり。これは当会応援団長大矢さんの献身的なご配慮によるもので、当会観戦団としては最高の15名が参加した。しかも、ありがたいことに外苑までの途中は渡辺さんにエスコートしていただき、老人たちのためには、地下鉄駅からはタクシーまで呼んでいただいた。そして用意していただいた学生席は其中で一番ホームベースに近い申し分のない位置にあった。

応援席に座ると、私の記憶は一挙に62年前に戻った。当時の学生席入場券は何しろプラチナチケット、クラスに3枚しか割り当てがなかった。それでも同宿の先輩が奔走してくれ、やっと外野席にもぐり込むことができた。初めて見る慶応の応援団は洗練され、軽快で、どこまでもスマートだった。早稲田はというと、制服、制帽が多いせいもあったが、よく統制がとれていて、威厳があり、声援は地響きがしてくるような重々しい迫力があつた。

入学以来何かフワフワしていた私も、この応援参加で初めて早稲田の学生になったような自信と誇りを持つことができた。後で早慶戦は早稲田の学生になるための洗礼だと教えられ、なるほどと納得したものだった。

さて今回の学生席は、最近の応援スタイルというのだろうか、切れ目とかアクセントがなく、かなり騒々しかった。別グループのOBが「静かに観戦させてくれ!」と怒鳴っていて、同感ではあつたがここではないものネダリ。何しろここは啄木が詠む“故郷の訛りなつかし停車場”なのだから。それでも両校のファインプレーには双方の応援席から惜しみなく拍手が湧き上がり、さすがに伝統の一戦に相応しかった。戦績はすでにご承知のとおり、翌日も慶応が連勝しリーグ優勝を果たした。今回はそのことを素直に喜び、秋にはぜひ早稲田が勝って慶応に喜んでいただこう。

この拙文が観戦記でなく感傷記?になってしまったことをお詫びするとともに、大矢さん、渡辺さんに重ねて感謝したい。

山崎敬雄記



校旗入場



チアリーダーによる、華やかなAKB風応援 昔はこんなの無かったな～

会の告知板

【部会予定】

7月 22日(火)	ゴルフ部会「三田会合同ゴルフ会」		熊谷ゴルフクラブ
7月 26日(土)	カラオケ部会「カラオケを楽しむ会」	18:00	オンチッチ
8月 3日(日)	第2回役員会	16:00	生涯学習センター
8月 28日(木)	映画鑑賞会「望郷」	14:00～	成美教育文化会館
9月 28日(日)	ウォーキング部会「赤坂・六本木界限(勝海舟邸跡 他)」		詳細後日発表
11月 24日(祝)	20周年記念コンサート 20周年記念懇親会		成美教育文化会館

【大学・校友関係】

7月 5日(土)	早稲田大学商議委員会	(菱山会員、平山会員、安次峰会長出席)
8月 23日(土)	三多摩支部会長会	(安次峰会長出席予定)
9月 27日(土)	校友会代議員会	(別処副会長、高橋事務局長、小山田出席予定)
10月 8日(水)	稲門祭実行委員会	(清水幹事、高橋事務局長、小山田出席予定)
10月 19日(日)	稲門祭・ホームカミングデー	

【会の報告】

- ◎4月 26日(土) 東久留米三田会総会 (安次峰会長、高橋事務局長出席)
- ◎6月 1日(日) 西東京稲門会総会 (藍原副会長出席)
- ◎役員会報告 平成26年度第一回役員会が6月8日(日)16:00より生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

1. 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係：各総会等への出席報告及び参加予定調整。
2. 平成26年度会員数：伊東会計幹事より今年度会費納入状況の報告。会費納入者149名(内2名物故者)新規入会者の大幅な減少による。本年度は6月末会費未納でも会員名簿に記載し1年間猶予することに。未納会員への督促状発送済。7月ポストマン名簿配布時にも文書で納金依頼。
3. 交通費の支給：大学・校友会・近隣稲門会への参加者に、一律500円を支給。年2回事務局長より、実績を会計に報告/請求し、会計から本人に支払うこととする。
4. 20周年記念事業進捗状況：前半は無事成功裏に終了。秋のメインイベントおよび「記念誌」刊行に向けて準備を加速。
5. 平成26年度会員名簿印刷：7月6日(日)14時生涯学習センター、袋詰16時 同創作室にて。
6. 組織強化補助金20万円の申請について：要件となる下記4項目について達成を目指すことに。
 - (1) 稲門祭記念品目標13万円達成済、(2) 稲門祭へふるさと賞の寄付は「柳久保かりんとう」を。
 - (3) 体育関係部への寄付5万円は、今回「応援部」へ。
 - (4) 若手校友の招待については、記念式典・懇親会への招待状を9月のポストマンで配布することに。
7. その他：○映画鑑賞会—今後若手会員の協力が必要に。○ホームページ— 継続検討中。
 - カラオケ部会—7月26日(土)開催。○定時総会懇親会の収支が大幅な赤字(約▲4万5千円)となったことにつき、今後は会費に見合った経費とするようケイタリング、寿司代等を見直すことに。

【部会報告】

<旅行同好会>

「新緑の寸又峡と忍野八海の旅」

風薫る五月、私達「旅行同好会」の面々は5月8日午前7時45分に、東久留米市役所前へ集合しました。男性9名、女性7名の計16名は、サロン付のバスに乗り込みました。初日は用賀、海老名、清水を經由して清水港で昼食。各人好きな海



清水港で記念撮影

の幸を酒とともに堪能しました。

そして名高き「三保の松原」を見物して、それより秘境と呼ばれる「寸又峡」へと進みました。そこにはコバルト色をした湖（ダム）があり、ここに吊り橋が架かっています。渡りはじめて中央まで来て、下を見ると足が凍んでしまいました。ただ、ひたすら前を見て前進するのみです。

夕方には「奥大井観光ホテル翠紅苑」に入りました。皆さんの感想は「鄙びた山奥なのであまり期待はしていなかったが、予想外に良い宿だった」という声が多かったようです。創業 50 年になるそうですが、よくぞ 50 年前にこのような秘

寸又峡チンダル湖に架かる夢の吊橋



三保の松原



世界最長の木造舗道橋「蓬莱橋」897.4m

日本最大木造鳥居
境にホテルを作った
ものだと創業者の心
意気に感動しました。

さて、翌日は世界
一長い木造の蓬莱橋
を渡りました。明治
12年（1879年）に
完成しましたが、江
戸時代は人力により
大井川を渡ったそう
です。この世界一の
長さを誇る木造橋は

平成 9 年（1997 年）にギネスブックに認定されました。バスは一路、御殿場、忍野八海、河口湖 IC へと進みます。途中で寄った「北口本宮富士浅間神社」は誠に荘厳な姿でした。今までに見たこともない、目を見張るばかりの大鳥居（日本最大木造鳥居）です。

バス良し（年配の運転手さんの安全運転、時間調整のうまさに感服）、景色良し、宿良し（従業員のマナーが良い）、温泉良し、酒良しの良し良し旅行でした。旅行の幹事さん、誠に有難うございました。

酒井正敬記

<ゴルフ部会>

2014年シーズンの開幕戦の稲門例会は、5月12日好天の玉村ゴルフ場で7名参加のもと開催されました。同ゴルフ場での開催は、三田会との対抗戦も含めて18回目に及び、利根川の支流の烏川の河川敷で、平坦ながらケヤキ等が繁茂し林間コースの趣があり、格安料金も相まって稲門会諸兄には人気のコースです。優勝はネット71



しなやかな別処尚志さん

(グロス86)のダントツ成績の池田信一さんでした。2位はネット75(グロス97)の青柳成彦さん、3位はほぼ復調と思われる清水正弘さんネット75(グロス90)となりました。優勝の池田さんの力強いティショットと、華麗でしなやかな別処さんのフォロースルー写真を掲載します。尚

6月9日に開催予定であった第21回三田会・稲門会対抗ゴルフ会は、天候不安のため中止となり7月22日に繰り延べ開催となりました。東稲ニュース発行日と参加締切日のタイミングが合わず、一部の人のみに案内となりましたことお詫びします。伊東 毅記



優勝の池田信一さん

<囲碁部会>

首都圏稲門会による第14回オール早稲田囲碁祭が、6月8日(日)に市ヶ谷・日本棋院で行われました。競技は1チーム5名、A～Eクラスの団体戦で、東久留米稲門会からは、これまでAクラス1チームと、西東京稲門会との混成チームの2チームが参加していましたが、今回は部会員の身体不調その他の事情でチーム編成が難航し、東久留米・西東京・混成チームのみがCクラスとして出場しました。

並行して行われた個人戦には級位戦に鮎貝部会員、無差別戦(OB名人戦)には苺草部会員が出場しました。競技結果は無差別戦の苺草部会員が、かろうじて第3位に入賞したのみで、団体戦、級位個人戦ともに4位までの入賞に届きませんでした。

今回は、最近囲碁部活動に力を入れている早稲田実業から、高校・中学(男女混成)の選抜チームが、Aクラスに参加し、ハンディ戦とは言え、見事に第1位となりました。春季の東京都大会での好成績が期待されます。

2014年関東東学生囲碁春季リーグ戦が5月上旬に行われ、早稲田大学は一般一部、女子一部ともに優勝しました。本年4月入学の新人2選手が学内リーグの成績により主将・副将をつとめ、活躍しましたが、この主将・副将の定め方は早稲田囲碁部の伝統であります。

一般一部 1位：早稲田大学、 2位：慶応大学、 3位：東京大学
女子一部 1位：早稲田大学、 2位：明治大学、 3位：東京女子大学

苺草正守記



<女性サークル>

梅雨の晴れ間の少し暑くなった6月19日(木)、「としまえん」で開催されている「あじさい祭り」に女性9名で訪れました。あじさいは「としまえん」入園料だけで見ることができます。「としまえん」の入園料は1,000円ですが、「あじさい祭り」の期間中50歳以上は500円で入園できます。今が見頃のあじさいを見ようと、平日でしたが多くの方が訪れていました。

遊園地内の北側エリアにある“あじさい園”には、150品種一万株のあじさいがテーマ別に植えられています。入口のところには、野生あじさいや品種改良されたあじさいなどが少しずつ植えられていて、



豊島園 あじさい園にて

多くの種類があることに驚きました。“あじさい園”に入ると青いあじさいの花が一面に咲いていてとてもきれいで、まさに見頃という感じでした。白いあじさいもあり、色々なあじさいの種類を立札で確かめながら園内をゆっくり一周しました。帰りに“あじさい市場”に立ち寄ってみると、きれいに咲いたあじさいの鉢植えが並んでいて購入された方もいました。その後は近く中華料理店で昼食をとり、昼食後も場所を変えて語らい、楽しい一日となりました。

吉川明美記

<俳句部会>

5月18日(日) 第166回句会 於：生涯学習センター

兼題：「新緑」、「更衣」、

こだわりを捨ててさっぱり更衣
持ち数を減らし減らして更衣
更衣親父ゆずりの古行李
新緑や大仏殿の見え隠れ
心地良き風もまとひて更衣
衣がえ侘びしき髪を撫でてみる
衣更へて何かあたらし門出かな
いつの間に八十路の坂や更衣
新緑に包みこまれし寺一つ
一万歩超えて緑にまみれをり
薫風やポニーテールの遊撃手
新緑や腰を伸ばして深呼吸
新緑の蔭深々と上水路

川俣栄一
川島知子
比護喜一郎
大久保泰司
河村洋子
杉本達雄
橘 優治
神田尚計
三田畔巢
松田博雄
神田尚計
比護喜一郎
神田尚計



6月15日(日) 第167回句会 於：生涯学習センター

兼題：「さくらんぼ」、「夏木立」、

遠くまで風のみえみる青田かな
緑陰に置く文豪の書簡集
母と娘の暮しいろどるさくらんぼ
新しき扇子の香り宵の風
さくらんぼ朝餉の卓の華やぎて
妖怪の騒ぐ声する夏木立
葉洩れ日の水玉模様夏木立
※三点句以上

三田畔巢
杉本達雄
松田博雄
棚野愛子
棚野愛子
杉本達雄
神田尚計



橘 優治記

部会だより

<カラオケ部会> 「カラオケを楽しむ会」のご案内

恒例の、夏の「カラオケを楽しむ会」のご案内です。今年も下記の通り開催いたします。歌自慢の方、音痴だけど思いっきり声を出して発散したい人、練習を重ねた日ごろの成果をこの機会にご披露したい方、覚えた歌を人前で歌いたい方、とにかく集り、楽しく仲良く歌いましょう！

1. と き 平成 26 年 7 月 26 日 (土) 午後 6 時～10 時
2. ところ オンチッチ 市内東本町 1-9 TEL 042-477-7333
3. かいひ 4,000 円
4. ご連絡 高柳康夫 TEL : 042-473-3559 携帯 : 090-8741-8424
E-mail : y-takayanagi@watch.ocn.ne.jp

※ご参加の方は、7月25日(金)までに、必ずご連絡いただきますようお願いいたします。

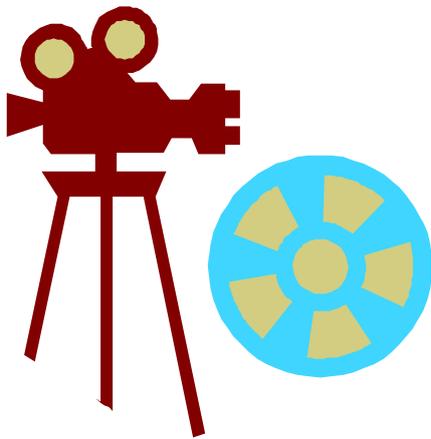
高柳康夫記



<映画鑑賞会>

「望郷」 8月28日(木)午後2:00～ 於:成美教育文化会館

ちょっと古い作品ですが、今年亡くなられた当会員で、元会長の市川英雄さんが、是非上映してほしいと熱望されていた作品なので、追憶の意を込めて取り上げてみました。



フランスの植民地アルジェリアの首都アルジェのカスバ。ここに逃れてきたパリのギャング、ペペルモコ(モコはアルジェリア人の意)は、望郷の念やみがたく、パリから来た美人ギャビーの“メトロの匂いに触発され危険を覚悟で隠れ家を捨てカスバの外に出る・・・。迷宮のようなスラム街を舞台に無頼漢に詩情を見出したJ・デュヴィヴェ監督の屈指のメロドラマであり、ギャバンの名演が語り継がれる名作。

脚本/監督:ジュリアン・デュヴィヴェ

出演:ジャン・ギャバン、ミレーユ・バラン

上映時間:94分

米光慶二郎記

<ラグビー観戦部会>

東久留米稲門会として、下記の5試合(日程)について団体観戦を予定しています。ご希望者は指定期日までにご連絡願います。

1) 菅平合宿おさらい「対帝京大学腕試し戦」

8月23日: C, D 戦 24日: A, B 戦

筆者は富田ペンション(pcにて検索してください)に二泊して全試合観戦します。一泊で全試合観戦或は日帰りで二試合観戦も可能です。興味のある方は7月14日~21日の期間に電話連絡下さい。宿と連絡を取りながら返事します。早稲田研修寮前のグラウンドで涼しい空気を吸いながらの観戦です。



-
- 2) 9月28日 「筑波戦」 15:00 K.O. 於秩父宮 (第一試合: 青学 vs 慶応 13:00 K.O.)
観戦希望者は8月末までに連絡ください。
- 3) 11月2日 「帝京戦」 14:00 K.O. 於秩父宮 (第一試合: 明治 vs 慶応 12:00 K.O.)
- 4) 11月23日 「慶応戦」 14:00 K.O. 於秩父宮
※上記3) &/or 4) 観戦希望者は9月15日までに連絡ください。
- 5) 12月7日 「明治戦」 14:00 K.O. グラウンド未定 (東京ドームとの噂あり)
希望者は10月14日までに連絡ください。

今年の早稲田はFW6名、BK1名卒業。取り分け誰もが心配するのが、③垣永主将の後釜。垣永のようには走れないが佐藤勇人が穴を埋めている。スクラムは前任者より強い。ラグビーの申し子⑥金ショウケイ副将の後は、足のある3年生の池本君に期待する人が多い。それが168cmの吉田が入っている。名門大分舞鶴出身とは云え、これまではD、時にCのSHが彼の定位置。赤黒を着ることなく卒業と誰もが思っ居たろうが、TRY取ったりなかなか。軽量で苦勞するだろうがFLの使命デフェンスを磨いてほしい。BKはチビながらCTB⑫を務め切ってしまった坪郷(今年の最高殊勲だろう)の後に早実の後輩(彼は坪郷よりチビ)飯野がCTB⑬から回る。CTB⑬には4年生Sサイズの丹野がはいるか?ファンの期待はMサイズ2年生勝浦(179cm)だが。

春は勝ち負けは余り気にしないが、大隈侯の生誕地での招待試合26:41での対明治敗戦、気分悪い。6月15日金沢での早慶戦40:22。余分なTRY取られている。CTB石橋にやられている。我が勝浦早く成長してくれ。6月22日対帝京10:28良く1TRY取れたと思うほど帝京のDF良い。昨年までの⑧李が卒業してほっとしたら、後釜デカイのが入っている大阪桐蔭出身の1年生。こんなとこの先4年付き合わなければならないかと思うと。トホホ。6月26日1年生早明戦。戦前予想は50点差位の大敗。それがどうだ19:29の好試合。今年の1年生数は少ないが将来が楽しみ。



筆者は特に: Lo加藤(秋田工)186/84、Lo水野(早実)180/82、Lo吉満(本郷)187/93、SH杉本(京都府立桂)168/70、SH吉岡(国柄)164/64、SO横山(桐蔭)180/78、CTB鶴川(桐蔭中等)181/89、FB黒木(高鍋)179/84 4年間見ていきます。特に鶴川君は1:1でも他校に負けないCTBに育て欲しい。

藍原昌義記

東稲広報室

<訃報>

当会会員 弘法堂俊雄さんが3月に、松本弘也さんが4月8日にご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。なお、当稲門会から、規定に従って香典をお供えいたしました。

<稲門祭グッズ購入の御礼>

稲門祭グッズ販売については会員皆様のお力添えにより、校友会本部による当稲門会の今年度目標金額13万円を、無事達成することができました。後輩の奨学金等の支援になるとはいえ、ご負担のかかるお願いに快く応じてくださり感謝申し上げます。ありがとうございました。ご購入いただきましたグッズは順次配布中で、7月中には皆様のお手元へのお届けを完了する予定です。担当: 清水、小山田

<事務局より>

- ① 来年(平成27年)の新年会は1月25日(日)、定時総会は4月26日(日)の予定。
- ② <新入会員紹介> 楠山三香男さん(29年 文学部卒)
- ③ 練馬稲門会より、10月17日(金)第150回記念ゴルフ会の案内がありました。詳細は伊東部会長へ。

劣等生の学生時代

山口 謙二 (S49 政経)

定時総会後の懇親会で尊敬するT氏「山口君何でもいいから何か書いてよ」。

私「本当に何でもいいんですね？」と何度も念押ししての雑文に暫しお付き合い下さい。

昭和45年仏語25組入学。首都圏・地方半々で公立校出身の国立一期残念組が多かった印象。私の如く合格を無邪気に喜んでいる者は稀で、クラスに明るい感じはあまり感じられませんでした。早大一途（と言っても滑り止めに？K大も受けましたが）で政経・法・商と三日連続受験はハードでした。他私大に比し問題の難度が1～2ランク上で、法の国語は（記憶違いが無ければ）カミュの「ペスト」で20分位何度読んでも文意が掴めず冷や汗が出ました。

昭和45年と言えば70年安保ですが、周囲の雰囲気は事実上終戦で安保云々よりセクト間抗争が次第に激化しつつある印象でした。私は所謂ノンポリで6月に赤坂見附でフランスデモに参加する程度の意識の低い学生でした。学内では内ゲバ多発で、川口大三郎君事件のような残念な出来事もあって、「ワセダは危ない学校」と世間感じられたのではないかと思います。

サークルは、通称ダンモ（モダンジャズ研究会）に入会。かの？タモリ氏はOBです。記念会堂裏の「音楽長屋」にハイソ、ナレオ、ニューオリと同居。プロになるべくダンモに入るレベル（こういう人々は大体学校には行きませんね）から一度も楽器の経験の無い者までも受け容れるワセダらしい懐深い集まりでした。部の活動費稼ぎで先輩演奏のダンパ・TV出演（当時学生レベルではかなりの水準）のイーボ（バンドボーイの意）をやった事など楽しい思い出です。私は裏方向きで、演奏より先輩マネージャーの手伝いを楽しくやっておりました。私は生来飽きっぽい性格で長続きしませんが、プロになった方も数多い名門サークルです。夏合宿で今まで一度も顔見た事のない先輩が参加していて曰く、「学校へ行くヒマあったらレコード録音してテープスロー再生で楽譜書け」と指導されるような世界で、世の中にはスゴイ人々がいるものと思ったものでした。

学業はさっぱりで、「可山優三」でした。今思えば勿体ない話ですが、当時私は「ワセダは学校へ行かずして卒業するのが美しい」と考えていました。とは言え、成績劣悪でよく卒業出来たものとわれながら不思議です。その咎めで、就職内定しているにも拘わらず仏語の単位未取得でイザとなったら教授に一升瓶持って陳情に行くしかないと思面目に考えました。

さて、自業自得の成績不良の為、就職も学校推薦要のところは無縁、金融・商社は不戦敗。何故か窯業系ばかり受け、衛生陶器メーカーでは人事部長に「君成績悪いけど、説明出来る理由何かあるの？」と言われる始末。絶縁物メーカーでは役員面接で「君長男だけど転勤可？、酒飲めるかい？」と妙な質問攻め。その内の片方に潜り込んで気がついたら40年勤務しております。何度も転勤しました、酒もおおいに飲みました。

とまあ先輩には呆れられ、後輩には軽蔑されそうな学生時代を告白しましたが、劣等生なりに愛校心は人並みのつもりで、母校の動静はいつも気になります。母校の発展と東久留米稲門会の永続的発展を祈念しております。

<編集後記>

7月7日は七夕、且つ小暑です。小暑は二十四節季のひとつ。夏の風が熱気を運んで来るころのこと。梅雨明けのころに吹く風を白南風（しろはえ）と呼ぶのだそうです。記念事業は会員の皆様のご協力で、ウォーキング、早慶戦観戦、映画鑑賞会を盛況の裡に実施することができました。この場を借りて御礼申し上げます。記念誌の作成は寄稿依頼から原稿の収集と手書き原稿のワードへの変換と進み、見積り条件の検討から見積もり依頼へと進行中です。